

## 水葵

西本愛

南相馬の 沿岸に  
一斉に 咲きはじめた  
青紫の かの花は  
干拓と 農地造成で  
消えた 花

真っ黒の 波が  
押し寄せた あの日から  
人が消えた 泥の中  
種は じっと待っていた

息を ひそめて  
水鳥たちの 夢を見る  
再び 干潟が うまれることを  
人の 気配が なくなることを

花を探し 手折り  
いける ひとりの華道家の  
いけばなの 記録  
綴じられた 一冊の  
無言の嘆きと 美しさ

まだ見ぬ花の 一枚の写真を抱いて  
病室のベッドで 手術を  
待った日のこと  
もう一度 咲くだろうか  
わたしの中にも